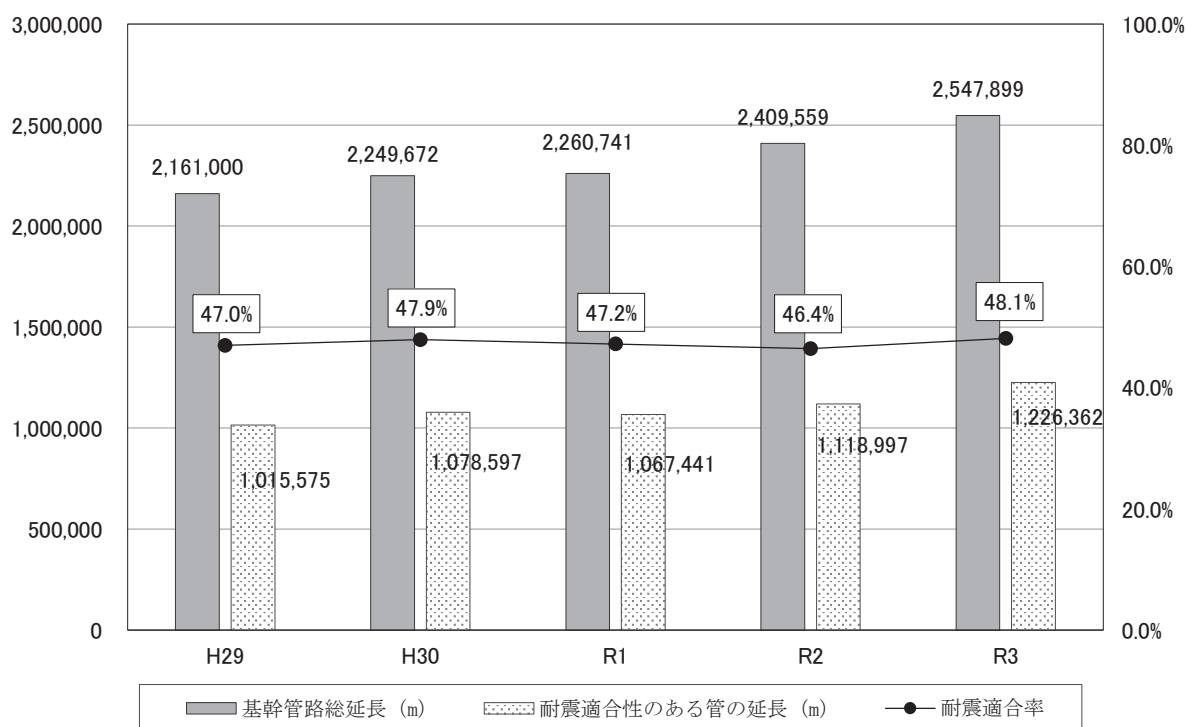


## 7 水道事業における耐震化の状況

### (1) 基幹管路の耐震化状況



	項目	H29	H30	R1	R2	R3
基幹管路	基幹管路総延長(m)	2,161,000	2,249,672	2,260,741	2,409,559	2,547,899
	耐震適合性のある管の延長(m) ※1	1,015,575	1,078,597	1,067,441	1,118,997	1,226,362
	耐震適合率(%)	47.0	47.9	47.2	46.4	48.1
浄水施設	全浄水施設能力(m <sup>3</sup> /日)	1,240,461	1,237,097	1,233,300	1,229,059	1,235,963
	耐震化浄水施設能力(m <sup>3</sup> /日)	190,379	190,379	201,569	199,014	200,327
	耐震化率(%)	15.3	15.4	16.3	16.2	16.2
主要水 構築物 (参考)	全浄水施設能力(m <sup>3</sup> /日) ※2	1,211,358	1,211,020	1,212,684	1,208,443	1,212,678
	耐震化浄水施設能力(m <sup>3</sup> /日)	281,272	281,272	287,272	285,094	412,737
	耐震化率(%) ※3	23.2	23.2	23.7	23.6	34.0
配水池	全有効容量(m <sup>3</sup> )	926,830	953,759	940,654	934,513	937,443
	耐震化有効容量(m <sup>3</sup> )	378,574	411,484	463,494	497,921	529,298
	耐震化率(%)	40.8	43.1	49.3	53.3	56.5

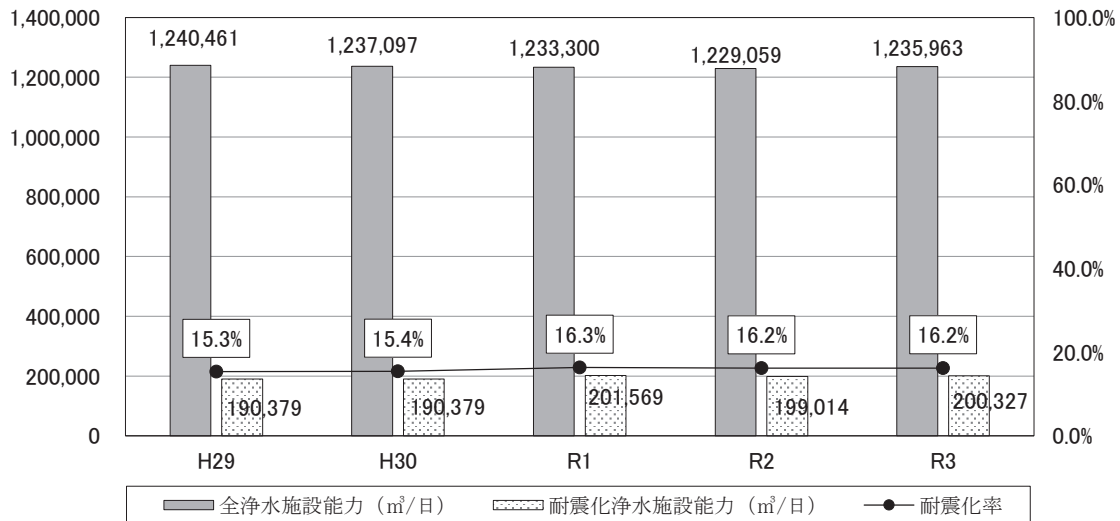
※1 耐震適合性のある管とは、耐震管(地震の際でも継ぎ目の接合部分が離脱しない構造の管)に加えて、耐震管以外でも管路が布設された地盤の性状を勘案すれば耐震性がある管のことをいう。

※2 浄水施設能力には消毒のみ施設を除く。

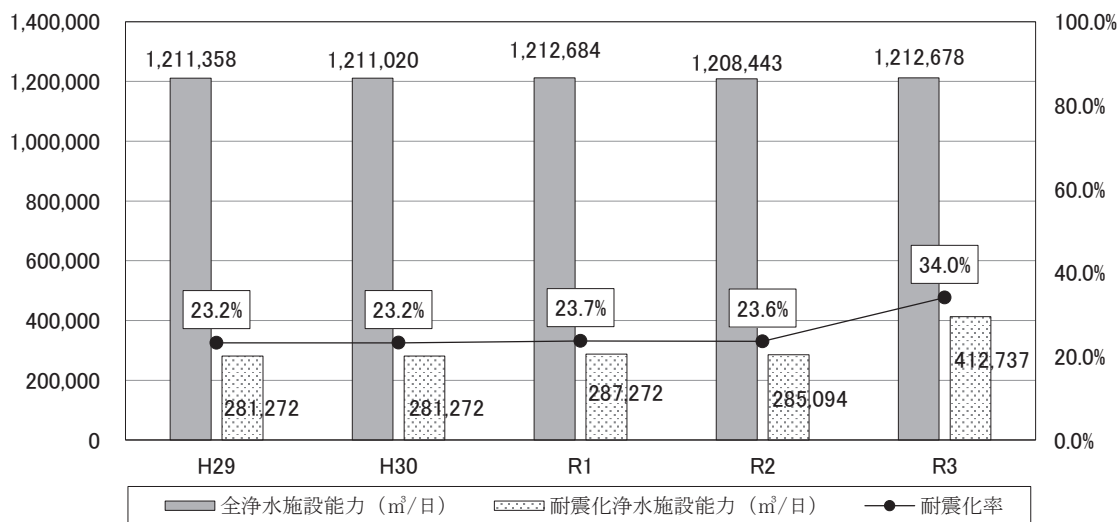
※3 浄水場の主要構築物である沈でん池及びろ過池に対して耐震対策が施されている割合のことを示す指標。

(沈でん・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力) / 全浄水施設能力 × 100

## (2) 浄水施設の耐震化状況



## (参考) 浄水施設の主要構造物の耐震化状況



## (3) 配水池の耐震化状況

